

No.8	提 案 名：私たちのまち宇都宮の新たな商店街の創造を目指して ～戦略的商店街への挑戦～	
	提案団体名：宇都宮共和大学 内藤マーケティングゼミ	
	所 属：宇都宮共和大学 シティライフ学部 シティライフ学科	
	代 表 者：佐藤瑞季	指導教員：内藤英二
メンバー	佐藤瑞季 柿沼咲妃 ホー・キム・チャン 大野洋輔	

○ 提案の要旨

私たち宇都宮共和大学内藤マーケティング論ゼミは、昨年実施した「宇都宮デコレーションプロジェクト」を高度化した取り組みへの移行を試みました。昨年度の「宇都宮デコレーションプロジェクト」が宇都宮共和大学シティキャンパス内のみでの実施であったのに対し、今年度はキャンパス付近の商店街でデコレーションを展開することを計画に盛り込みました。それにより街を通りや区画ごとに彩ることで宇都宮市の特色を可視化させ、住民の地元愛の高揚や他の市町村との差別化が可能となり、宇都宮市の活性化に寄与することが期待される。

私たちは宇都宮市の中心街に位置し大学からのアクセスも良いオリオン通りを選択した。オリオン通り沿いに店を展開している人、オリオン通り付近で暮らしている人、オリオン通りに訪れた経験がある人（外国人も含める）、地元のメディア関係者に対して、インタビュー及びアンケート調査を行い、それぞれが思うオリオン通りの良い点と改善点の把握を試みた。また、オリオン通りに軒を連ねる店舗の業種分析を行い、おおよその客層や来訪者が多い時間帯を予測した。

上記のデータを元に具体的なデコレーションの内容を検討し、オリオン通りの運営を担っている曲師町商業協同組合様に通り沿いのデコレーションを連携して行うことを提案した結果、快諾していただいた。

現在はデコレーションに向けて、具体案や設置箇所を協議している。

1. 提案の背景・目的

デコレーションを実施するオリオン通りにおいて、テナントとなっている業種や客層の偏りが目立つ。具体的には、居酒屋やバーなど夕方から夜、もしくは夜から朝方にかけて営業する店舗が多い。そのため、客層は飲酒ができる20歳以上。また、賑わう時間帯も店が営業している夕方から夜にかけてが多く、逆に昼間は閑散とした雰囲気になってしまう。かつてのオリオン通りは様々な業種の店が並び、学生から家族連れといった多くの人が行き交う場所だったという。しかし、現在は人口減少・少子高齢化や郊外に大型商業施設ができたことによる中心市街地の空洞化が深刻であり、オリオン通りも例外ではなかった。

内藤マーケティング論ゼミでは、かつての賑わいあふれるオリオン通りを取り戻すと同時に子供から大人まであらゆる世代の人々が1日中楽しめるテーマパークのような商店街を実現させる可能性を検討している。例えば、小さな子供が安心して通りを歩けるように押しチャリを呼びかけることや道中で転倒やその他事故の発生が懸念される箇所をリサーチし、安全対策を強化する。また、何度訪れても見飽きることのない様々なデコレーションを行うなど、「また来たい。」と思ってもらえるような商店街運営を目指していく。

2. 提案の目標・課題「まちに広がる共創の輪～新たな価値の創造を目指して～」との関連

今回の提案の目標・課題である「まちに人がる共創の輪～新たな価値の創造を目指して～」と私たち内藤マーケティングゼミが展開してきた調査・研究活動との関連については、以下の3点を指摘することが出来る。

- ① 地元商店街事業者との共同活動
デコレーションプロジェクトの一環として、曲師町商業協同組合に所属する商店街事業者と共同で、曲師町商店街の新たなイメージをアピールするためのロゴマークの制作に栃組んで
- ② オリオン通りの活用状況と期待するイメージに関するアンケート調査の実施
市の中心に位置するオリオン通りの現在の活用の状況、未来に実店を期待する将来のイメージについて、事業者、周辺住民、オリオン通りを利用したことのある市民、マスコミ等の商店街運営関連問題の専門家に対して、グーグルフォームを活用したアンケート調査を中心にいくつかの調査を実施した。
- ③ オリオン通りの新たな可能性を見出す
宇都宮市の中心にあっても地域住民や訪れる人のニーズにうまく対応できないと来客数の増増加は期待できないので、人々がオリオン通りに何を求めているのかを考えることが重要になる。新たな可能性としては以下の3点に注目したい。
 - ◎西口延伸によって市民のオリオン通りへのアクセスが改善される可能性が高い。
 - ◎周辺地域に学校が多いので、生徒・学生の過ごしやすい空間を創造する。過ごしやすい空間の実例としては、下校途中に食べ歩きをしたり、試験勉強や受験対策に利用できるスペースの創出等が考えられる。

3. 現状分析

3.1 オリオン通りに関するアンケート（インタビュー）調査

一世代間交流が可能となるような新しい商店街創造への期待・ニーズの高まり

（1）調査方法：

グーグルフォームによるアンケート調査及び有識者（新聞社社会生活関連担の方）インタビュー調査を実施した

（2）調査対象

オリオン通り及び周辺に位置する商店街で実際に事業を展開している事業者、周辺住民、オリオン通りを利用したことのある市民（留学生を含む）、マスコミ等の商店街運営関連問題の専門家。インターネットを通して質問票を配布し、11月19日現在の回答数は35人。

（3）回答者の特色

- ①年齢別特色：年齢別では、20歳以上30歳未満が21人と全体の60%に達し、最も多い。次いで15歳以上20歳未満が8人22.9%、20歳以上50歳未満、50歳以上60歳未満、60歳以上70歳未満がそれぞれ2人、5.7%となっており、15歳以上30歳未満の比較的若い人たちの回答が全体の80%を上回っている。
- ②男女別特色：男女別では女性22名、62.9%、男性13名。37.1%となっており女性の回答が男性よりも多い。
- ④ 居住地別特色：居住地については、宇都宮市内、市外共に回答数が17人、50%という結果が出ている。

表1—2 オリオン通りに関するアンケート調査（2）

No.	年齢	居住地	性別	オリオン通りがこれからどうなったらいいと思いますか？	F.A.
1	20歳～30歳未満	宇都宮市外	女性	賑わって欲しい	
2	20歳～30歳未満	宇都宮市外	男性	安心安全な溜まり場	
3	40歳～50歳未満	宇都宮市内	女性	飲み屋ばかりではなく昼間でも人が集まる商店街になってほしい	オリオン通りの夜の治安が悪くて怖い
4	20歳～30歳未満	宇都宮市内	女性	オシャレなカフェが増えたら良い	
5	15歳～20歳未満	宇都宮市外	男性	綺麗	
6	20歳～30歳未満	宇都宮市外	女性		
7	20歳～30歳未満	宇都宮市外	男性		
8	40歳～50歳未満	宇都宮市内	男性	人が集まるお店や場所が増え、オリオン通りに昔のような活気のある良い商店街になれば良いと思います。	オリオン通り意外でも活気がある場所が出来ると良いと思います。宇都宮を初め栃木県はその様な場所が少ないと思います。
9	15歳～20歳未満	宇都宮市内	男性	地域住民だけでなく、それ以外の地域からくる客を迎え入れる体制をつくるべき	
10	20歳～30歳未満	宇都宮市外	女性	もっと、子供とか若年層も楽しめる商店街になったらいいなと感じています。	
11	15歳～20歳未満	宇都宮市外	女性	綺麗になるといい	
12	15歳～20歳未満	宇都宮市外	女性	もっとお店が増えればいいと思う	
13	20歳～30歳未満	宇都宮市内	男性	警察ウロウロ	
14	20歳～30歳未満	宇都宮市外	女性	交通の便をよくして欲しい	
15	20歳～30歳未満	宇都宮市外	女性	治安よくなればいい	
16	20歳～30歳未満	宇都宮市内	女性	昼間も活気がある商店街	
17	20歳～30歳未満	宇都宮市外	男性		
18	20歳～30歳未満	宇都宮市外	男性	飲み屋増えて	
19	20歳～30歳未満	宇都宮市外	男性	居酒屋が増えて人とコミュニケーションが取れたらいいなと思います。	
20	20歳～30歳未満	宇都宮市外	女性	もっと色んなお店が増えて欲しい	
21	15歳～20歳未満	宇都宮市内	女性	もっと活気があり、夜通るのも怖くないようになる	
22	15歳～20歳未満	宇都宮市内	女性	活性化して欲しい！	
23	20歳～30歳未満	宇都宮市外	男性	現在の学生に馴染みやすい商店街になることと、昔から住んでいる方々といつでも交流できる商店街になるといいと思います。	
24	20歳～30歳未満	宇都宮市内	女性	中学生の通学路になっているので学生受けするショッピング施設を作ったり、夜には飲屋街になるので飲み屋を増やしたりしたらいいと思う。	
25	15歳～20歳未満		女性	特にないです	
26	20歳～30歳未満	宇都宮市内	女性	治安が良くなったらいい	
27	20歳～30歳未満	宇都宮市内	男性		
28	20歳～30歳未満	宇都宮市外	男性	治安がよく、様々な年代で賑わえば良いと思う。	
29	20歳～30歳未満	宇都宮市内	女性	学生も通りやすく、開かれる場所があるといいと思う（通学路で使う学生が多いため）	
30	20歳～30歳未満	宇都宮市外	男性	「安心さ」「居心地の良さ」がある場所	
31	50歳～60歳未満	宇都宮市内	女性	明るく過ごしやすい、憩える通り	
32	60歳～70歳未満	宇都宮市内	女性	中高年が楽しめる商店街 雰囲気の良いカフェや落ち着いたレストランがあって、昼間はウィンドショッピングが楽しめる商店街。 または、食べ歩きができる街。 オリオン通りだけでなく、二荒山神社から城址公園までや日野町通りも含めて、高齢者にも優しい商店街づくりを望む。	東京など都会にも○○商店街という昔からの商店街がたくさん残っているのに、何故宇都宮では古い商店街や街並みを残そうとしないのか、疑問に思う。 この調査がオリオン通りの改善に生かされることを強く希望します。
33	50歳～60歳未満	宇都宮市内	女性	上記に書いたように、昼でも夜でもアーケードの下で食事ができたり、老若男女集える場所になるといいです。	空き店舗の活用(オリオン通りではないけど、カマフラブックスのようなお店を出店して、オリオン通りを活性化させてほしい)
34	15歳～20歳未満	宇都宮市内	女性		
35	60歳～70歳未満	宇都宮市内	女性	若者と商店街の共生	

3.2 商店街実態に関する調査—飲食店の増加を指摘する意見が多く見られる

公的な統計データを検索してみたところ、栃木県産業労働観光部、『平成26年度 商店街実態調査』によると、商店街地区内で過去5年間で増加した店舗の種類を問う質問では、県全体の有効回答商店街137か所中、「飲食店」とする回答が35か所、25.5%となっており、更に。宇都宮市が含まれる県央地域についてみると、「飲食店」との回答の割合は34.8%と県全体よりも高くなっている。

中小企業庁経営支援部、『2018（平成30）年度商店街実態調査』の都道府県別データによると、商店街で営業している店舗の業種としては、全体の25.8%が飲食店・居酒屋」と回答しており全国平均は32.2%が「飲食店・居酒屋」、過去3年間で増加したとする業種別店舗形態については、増加したとする回答が16.9%であった（全国平均20.8%）。

3.3 曲師町商業協同組合での説明会—新しいイメージの確立に向けて

2024年10月21日、組合事務局において、私たち内藤マーケティング論ゼミ生2名は曲師町所業協同組合所属の事業者の方々に対して、今回の提案に関する説明会を実施した。

この中で、私たちは宇都宮の新しい商店街の創造を目指すという今回の調査・研究活動とまちづくり提案活動の目的に、様々なタイプの利用者が安心して活用のできる「テーマパーク型商店街」の構想等について説明した。

活動によって期待できる効果として、商店街利用客数増加による収益の増加、治安の回復、他の商店街との差別的優位性の確立の3点を指摘し、参加者の賛同を得ることができた。

しかしながら、商業協同組合所属事業者の大半が酒類を中心とする飲食業に銃議しており、夜中心の営業時間を昼間に時間帯にシフトしたり、中心となる顧客層を男性から乳幼児を連れた若い家族へとシフトするにはある程度の時間と準備が必要であるという意見が多かった。

このため、私たちは曲師町商店街の新イメージを広く商店街利用者に印象付けるためのロゴマーク作成を提案し、参加者の了承を経て、シティライフ学部学生を中心にグーグルフォームを活用した曲師町ロゴのアイデアを募集し、現在、その選定作業を実施している。

図1 曲師町イメージアップロゴ募集グーグルフォームフォーマット

オリオン通り曲師町へのデコレーション提案

こんにちは、内藤ゼミです。

只今、内藤ゼミではオリオン通り曲師町でのデコレーションプロジェクトを行う予定で準備しています。

曲師町では、下記の図のようなデコレーションを行う予定です。

共和大学学生の皆さんから言葉を募集し、内藤ゼミと曲師町の方々で選定し、飾り付けを行いたいと思います。

下記の文に適した言葉をいただければと思います。

下の図のような「○○○○曲師町」の○○○○に合いそうな言葉を教えてください。

なお、商店街の店舗名などは入れないようにお願いいたします。

例) 賑やか、華やか、ご飯が美味しいなど

※下記の図はまだ試作段階ですので、変更する可能もあります。



4. 施策事業の提案—オリオン通りテーマパーク型商店街構想

4.1 基本的な考え方—多様な年齢層の利用客が集まることのできる君館としての商店街

現状分析でも述べたように、オリオン通りを何らかの形で利用してる市民が将来的なオリオン通りに対して抱いている期待、あるいはニーズとしては、以下のようなものがあった。

- ① 治安の改善（昼と夜とでの営業時間、営業形態の棲み分けの推進）
- ② 多彩な業種・業態の店舗の出店
- ③ 中学・高校生、乳幼児を連れた若年世帯、高齢者等、多彩な年齢層へのサービスの提供
- ④ 世代間交流の可能な施設の付設

これらのニーズを踏まえて、私たちは「オリオン通りテーマパーク型商店街構想」を提案する。

4.2 オリオン通りテーマパーク型商店街構想

多様な年齢層の利用者が集まり、安心、安全、快適に、飲食を楽しみながら。「居心地のよい」時間を共有することの出来る空間を、オリオン通りに創出することを目指す

- ① 運営期間・時間帯
週末の土曜日、日曜日、国民祝日を中心に、午前10時から午後4時を目安に展開する。
運営の時間帯は、現在、オリオン通りで営業している店舗の営業時間を考慮して設定します。
- ② 完全歩道化の推進
運営期間中、全ての時間帯で「押し押しチャリ」励行し、福祉車両以外の自転車、電動キックボード、電動補助機能の付いた自転車の走行を禁止して、商店街内での「押しチャリ」を推進する。利用者への「押しチャリ」励行と監視は商店街事業者の学生ボランティアが担当する。
- ③ 乳幼児の安全性の確保
乳幼児を連れた若年世帯の人たちが、安心、安心に子供を連れた買い物や飲食が出来るように、商店街の各種施設の必要な部分に安全のためのパッド等の用具を装着します。また、商店街の数か所に簡単な遊具等を供えたキッズスペースを設けて、家族の目の届く範囲で、保育関連の課題を専攻する学生などボランティアによる幼児の一時預かりをします。
- ④ 世代間交流の拠点としての「コ・ラーニングスペース」の設置と運営
世代間交流に対するニーズに対応し、若年層と高齢者層の利用者が、互いに情報を交換し、交流することのできる「コ・ラーニングスペース」を商店街の中の空き店舗を活用して設置する。
中学・高校生に対しては、周辺に位置する予備校や大学等の教育機関の諸君が学習や受験の相談等に当たる。高齢者が持っている経験、知識、情報を若年者に伝える機能も併せて瀬ってしたい。例えば、私たちは10月に同じ大学内の「まちまちサークル」に協力して、宇都宮空襲体験者による体験講話の導入イベントして、空襲体験者の制作した紙芝居の東独を実施した。この際、会場内の若者まちなか活動・交流センタースタッフの皆さんのご指導・協力を頂いたが、こうした組織の協力のもとに「コ・ラーニングスペース」を商店街の中で運営することも想定している。

【参考文献・資料】

・栃木県産業労働観光部、『平成26年度 商店街実態調査』、2015年（平成27年）3月、15ページ、（最終閲覧日2024年11月19日）

https://www.pref.tochigi.lg.jp/f03/work/shoukougyou/chousa/documents/syoutengai_houkokusyo.pdf

・中小企業庁、『2018（平成30）年度 商店街実態調査』、2019年（平成31年）3月、都道府県別データ（最終閲覧日2024年11月19日）

https://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shogyo/shotengai_chousa.html